

重点目標

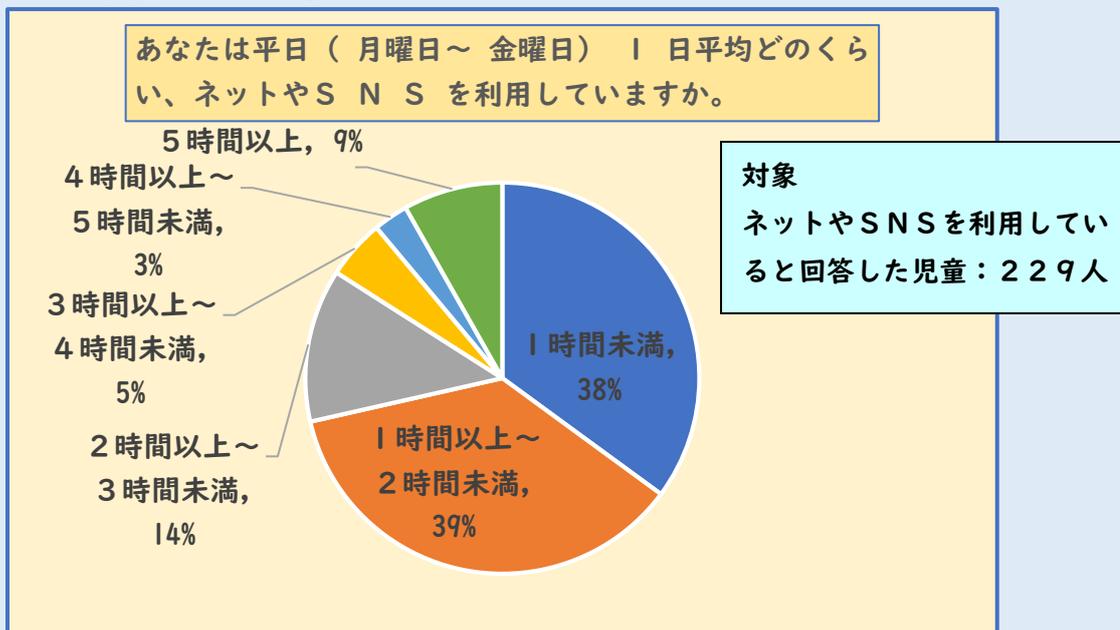
「自分で考え行動しよう」

ミッション

「対話と協働により、すべての児童の可能性を引き出し伸ばす」

ネットなどの利用状況

全児童を対象に、6月に行ったネットやSNSに関するアンケート結果（下の円グラフ参照）から、本校の1年生から6年生の72%（229人）はネットやSNSなどを利用しています。平日の利用時間は、1時間未満は38%、1時間から2時間が39%、2時間から3時間は14%になっています。全児童の3分の1は、平日1時間から3時間、利用しています。3時間以上利用している児童もいました。利用することは悪いことではありませんが、必要以上に長い時間になっていません。夏休みになると自由な時間が増えます。子どもとネットやゲームの利用について話し合いをしてほしいと思います。そこで、必要な力が自己マネジメント力です。5、6年生には特に大切な力で、子供の一生の財産になります。

**「心の支え」で自己マネジメント。**

自己マネジメント力は、スマホやゲームの誘惑に負けずに、自分で学習や生活を改善する力です。自己マネジメント力を高めるには、子どもだけの力では難しく、保護者の協力が必要です。子どもの「心の支え」「環境づくり」「習慣づくり」が大切です。今回は、特に「心の支え」について、下のチェックリストで確認願います。

- お子さんが「自分のよさ」を自覚していますか。
- お子さんの将来の夢や目標が分かりますか。
- ノートや学習プリントを見て、励ましていますか。
- 学校からの依頼に応じて、保護者からのコメントを書いたり、確認印を押したりしていますか。
- 自分の成功体験や失敗体験を話していますか。

